

## 第61回 AMG 学会

### 当院における災害対策の実際

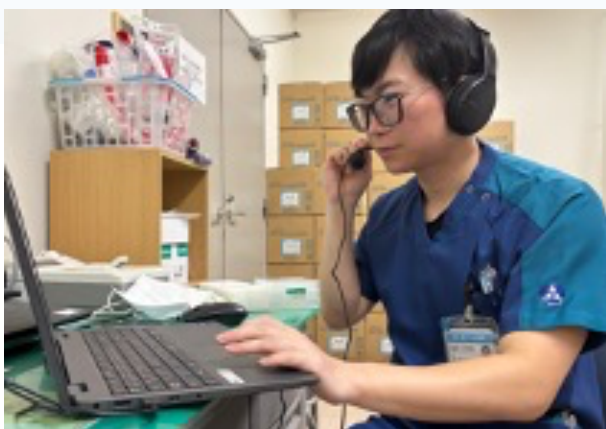
#### ①今回の学会・研修の内容

AMG学会は上尾中央医科グループに所属する病院・施設スタッフが日々の研究成果や知識を共有し、医療・介護の質向上を目指す合同学会です。今年の学会のテーマは『一丸～多様な個性と才能を結集し医療・介護に光と温かさを～』です。演題発表では最先端の技術、企業や水道局と連携して行う演題がありテーマに沿う内容が数多く見られ今後の可能性を大いに広げることができた学会でした。

#### ①今回の学会に参加した感想や印象に残った発表

今回、初めて演題発表を経験させていただきました。研究内容を設定し職員に向けて発信、考察し演題に当たるまで臨床現場とは異なるむずかしさと課題がありましたがその分達成感も大きかったです。また研究を行うにあたって災害訓練そのものを見直すきっかけになり、患者さんがいない時間帯にしかできない大規模災害訓練より災害訓練を行うハードルを下げられました。今後はこの経験を日々の臨床に役立てこれまで定期的に行うことができなかった災害訓練を前向きに取り入れ患者様に安心安全な医療を提供していきたいと考えています。

笛吹中央病院 坂本 和紀（日本医療科学大学）



# 当院の災害対策の実際

## I. 研究目的

当院透析室で避難訓練を計画する際、勤務時間と透析クルの兼ね合いから、スタッフの勤務時間内に避難訓練を行うことが出来ない。しかし、穿刺や返血などがある程度落ち着いた時間であれば訓練が行えると考えた。そこで、患者が透析を行っている最中に、1時間程度で開催でき、なおかつ災害のイメージが分かるような訓練として、卓上訓練を行ったので報告する。

## II. 研究方法

当院血液浄化センターの臨床工学技士・看護師計10名を対象に、災害卓上訓練を実施した。最初に「地震が起こること」と「地震が発生する時間」のみを明かし、予想される被害と対応策をグループワークにて話し合ってもらった。その後に卓上訓練にて地震発生から避難までの対応までを行った。訓練後にアンケートを実施し、勉強会に対する理解度や改善点などを収集した。

## III. 結果

卓上訓練は1時間程度と、患者の透析時間中に訓練を行うことが可能であった。訓練後のアンケートでは、「今回の研修内容は理解できましたか?」という質問に対し「十分理解できた」・「おおむね理解できた」との回答が100%を占め、スタッフの理解につながる訓練であったと評価できる。また、卓上訓練を通じて新たな防災対策が導入されたなど、スタッフの防災意識の向上や透析室の環境を見直すきっかけにも繋がったと考えられる。

## IV. 考察

災害訓練を、卓上訓練で行う事により疑似的な災害体験ができ地震・火災・塩素ガスなど様々なシチュエーションを模擬することが可能と考えられる。また、シナリオさえあればいつでも訓練を行うことができるため、災害訓練を行うハードルが下がると考えられる。

## V. 結論

透析医療における災害教育を定期的かつ業務時間内で行うという点において、卓上訓練は有用な手法であると考えられる。卓上訓練含め、災害に対するイメージを深めるような勉強会や訓練を継続的に行っていくことで、スタッフ一人ひとりの防災意識の醸成に繋がると考えられる。

## 引用文献